



INASHIKI CITY

12 月定例記者会見次第

と き 令和 3 年 12 月 3 日(金)
午前 11 時～
ところ 稲敷市役所
4 階 全員協議会室

1. 市長あいさつ

2. 令和 3 年第 4 回稲敷市議会定例会について

提出案件概要説明

行政経営部長

3. その他

①新型コロナワクチン 3 回目接種について

健康増進課

②(株)カスミとの包括連携協定締結に伴う高齢者

買い物支援事業(移動スーパー)について

高齢福祉課

③シトラスリボンプロジェクトの市民への啓発について

社会福祉課

④中学生卒業応援商品券交付事業について

こども支援課

⑤新型コロナウイルス感染症に係る稲敷市産米活用

支援事業について

農政課

⑥地域おこし協力隊の 6 期生について

まちづくり推進課

⑦オオヒシクイの越冬飛来状況について

環境課

4. 質疑応答

稲敷市公式マスコットキャラクター

いなしき
稲敷 いなのすけ



令和3年第4回 市議会定例会 提出案件 記者会見資料

《R3. 12. 3》

■議案

・ 条例改正	・・・・・・・・	1 件
・ R3年度 各会計補正予算	・・・・・・・・	6 件
・ 財産の無償貸付	・・・・・・・・	1 件
・ 市道路線の認定、変更	・・・・・・・・	2 件
合 計		10 件

■概要

○議案第99号 <稲敷市国民健康保険条例の一部改正について>

(改正内容)

健康保険法施行令等の一部を改正する政令が公布され、令和4年1月1日に施行されることから、出産育児一時金の支給額を40万4千円から40万8,000円に改めるもの。

○議案第100号 <令和3年度稲敷市一般会計補正予算(第9号)>

補正額 773,850千円

補正後の予算総額 23,698,306千円

(主な歳出補正)

- ・ 合併特例債対象事業
(市道(江)1-22号線道路改良工事等) 512,600千円(議案書p18)
- ・ 障害者自立支援給付事業 70,000千円(議案書p12)
- ・ 多面的機能支払交付金事業(県返還金) 39,656千円(議案書p17)
- ・ 生活扶助関係経費 31,000千円(議案書p15)
- ・ 新型コロナウイルス予防接種事業 17,690千円(議案書p16)
- ・ 学校再編事業推進費(基本構想等委託料) 9,000千円(議案書p19)
- ・ 中学校応援商品券交付事業
(中学卒業応援商品券補助金等) 7,398千円(議案書p14)
- ・ 高齢者生活支援事業
(高齢者等買い物支援事業補助金) 2,000千円(議案書p12)

- 議案第101号 <令和3年度稲敷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)>
- 議案第102号 <令和3年度稲敷市介護保険特別会計補正予算(第2号)>
- 議案第103号 <令和3年度稲敷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)>
- 議案第104号 <令和3年度稲敷市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)>
- 議案第105号 <令和3年度稲敷市下水道事業会計補正予算(第1号)>
- ・以上5案件 各特別会計及び公営企業会計補正予算

単位：千円

会 計	補正前予算額	補正予算額	補正後の予算総額
国民健康保険	5,041,068	353	5,041,421
介護保険	4,084,492	97,036	4,181,528
後期高齢者医療	1,027,681	1,103	1,028,784
介護サービス事業	12,163	732	12,895
下水道事業(資本的支出)	1,194,670	3,990	1,198,660

(主な歳出補正)

- ・国民健康保険は、国県等返還金の増額。
- ・介護保険は、主に居宅介護サービス給付費、施設介護サービス給付費、介護予防サービス給付費の増額。
- ・後期高齢者医療は、後期高齢者医療広域連合納付金の増額。
- ・介護サービス事業は、居宅介護予防支援サービス費の増額。
- ・下水道事業は、農業集落排水更新費工事請負費の増額。

○議案第106号 <財産の無償貸付について>

- ・就学前教育、保育の充実を図るとともに、地域に根ざした教育及び保育の提供を行うことを目的に、認定こども園つばさが立地する市所有地を令和4年1月1日から令和18年3月31日まで無償で貸し付けるもの。

○議案第107号 <市道路線の認定について>

- ・市道(江)3582号線、市道(江)5443号線を認定するもの。

○議案第108号 <市道路線の変更について>

- ・市道(江)3274号線、市道(新)1046号線の終点を変更するもの。

令和3年第4回稲敷市議会定例会 会期日程表

(会期：12月6日～12月17日 12日間)

日次	月 日	曜日	開議時間	会議種別	議 事
1	12月 6日	月	午前10時	本会議	◎開会 ◎市長提案理由の説明
2	12月 7日	火		休 会	議案調査日 議案等質疑通告締切 (正午)
3	12月 8日	水	午前10時	本会議	◎一般質問 (6名/12名のうち)
4	12月 9日	木	午前10時	本会議	◎一般質問 (6名/12名のうち)
5	12月10日	金	午前10時	委員会	◎常任委員会審査(総務教育常任委員会)
6	12月11日	土		休 会	
7	12月12日	日		休 会	
8	12月13日	月	午前10時	委員会	◎常任委員会審査(市民福祉常任委員会)
9	12月14日	火	午前10時	委員会	◎常任委員会審査(産業建設常任委員会)
10	12月15日	水		休 会	議事整理
11	12月16日	木		休 会	議事整理
12	12月17日	金	午前10時	本会議	◎委員長報告, 討論, 採決 ◎閉会

一般質問通告書一覧表

令和3年第4回定例会

質問 順位	質問 方式	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	一問 一答	中 沢 仁 員	本市における 水稲農業者へ の支援事業の 取組みについ て	<p>新型コロナウイルス感染症拡大から約1年半以上経過し、様々な影響が出ていると思います。飲食店は時短営業等を余儀なくされ、食材である生産物の消費の落ち込みは底が見えません。</p> <p>本市は、基幹産業が農業であることに間違いありませんが、その存続さえ危機だと思っています。持続可能な経営が出来るよう、水稲農業者への支援事業の取組みについて伺います。</p>	市長 地域振興部長
2	一問 一答	沼 崎 孝 雄 員	カーボンニュ ートラルを目 指すゼロカー ボンシティの 実現に向けた 取組みについ て	<p>カーボンニュートラルとは二酸化炭素の実質排出量ゼロ。実質ゼロとは温室効果ガス全体の排出量から森林により吸収分と相殺して排出量をゼロにする社会の実現のことです。</p> <p>①稲敷市環境基本計画によりますと目指すべき環境像として、水と緑の豊かな自然をみんなで守り未来につなげるまち稲四季とあります。毎日使う車に関することから質問します。環境基本計画に基づく今後の公用車のエコカー導入計画について伺います。</p> <p>②同計画に基づくエコドライブの技術習得の支援、市職員にエコドライブ講習会の開催とありますが、どのような講習を行ったのか、また今後開催される予定なのか伺います。</p> <p>③本市にもEV車の充電設備が今後、必ず必要になると考えますが導入計画について伺います。</p> <p>④同計画は2029年までのものですが、2050年までの長期計画としてゼロカーボンシティの実現に向けて、実質ゼロに取り組むことを表明すべきと考えますが市長の見解を伺います。</p>	市長 行政経営部長 市民生活部長
3	一問 一答	寺 崎 久 美 子 員	投票所のバリ アフリーと移 動投票所につ いて	<p>①投票環境の整備について</p> <p>(1)投票所の設置基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票区分、最長距離、出向きたい投票所の選択 <p>(2)投票所のバリアフリーと設備・備品設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすい駐車場の確保（障がい者スペース含） ・車いす、シルバーカー、杖等でスムーズに入場、記載・投票の確保 	選挙管理委員 会書記長

質問 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
				<ul style="list-style-type: none"> ・虫眼鏡、老眼鏡、文鎮など投票しやすい設備・備品の用意 ・代理投票についてのわかりやすい周知 ②投票所への移動支援と移動投票所の取組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・交通弱者に対する投票支援策 	
4	一問一答	松戸千秋議員	1. 子宮頸がんワクチン接種事業について	①接種対象者への個別通知の現状と今後の取組みについて ②積極的勧奨を控えていた時期の未接種者への対応について	市長 保健福祉部長
			2. 多様性を尊重する人権政策について	①性的マイノリティへの理解を深める広報啓発について ②小・中学校における取組みについて (1)教育委員会、教職員への研修について (2)児童・生徒、保護者への勉強会について (3)当事者への支援体制について (4)制服を選択制にする考えについて	市長 教育長 行政経営部長 保健福祉部長
5	一括質問	若松宏幸議員	1. 高齢者等のお出かけを便利にする取組みについて	高齢者等の移動手段をどのように確保するか重要な課題となっています。加齢によってマイカー運転を続けることが難しくなる一方、地域の公共交通は衰退し、安心して出かけることが難しくなっています。自動運転の普及が待望されますが、自家用車で一般化するには、まだ10年くらいはかかるとおられます。そこで、利用しやすい移動手段を整備し、外出機会を確保し、これまで通りの日常生活を続けてもらえるような取組みについて伺います。	市長 地域振興部長
			2. 投票率の向上に向けた取組みについて	平成29年第4回定例会での一般質問において、新たに選挙権を得た高校生を対象にした高等学校や有権者の利便性の高い商業施設等への期日前投票所の設置やワゴン車等を利用しての移動期日前投票所の巡回投票所の設置について、質問しました。今回の衆院選においては、江戸崎総合高校へ臨時期日前投票所を設置するなどの対策が取られ、投票率は前回の衆院選より2ポイント増加しましたが、今回も県平均を下回る結果となりました。そこで、更なる投票率向上への取組みについて伺います。	選挙管理委員会書記長

質問 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
6	一 問 一 答	山 本 彰 治 議 員	市営住宅の現在の運用状況や今後の考え方について	市内には14ヶ所の市営住宅があり、市が管理していますが、募集停止となり、今後は廃止予定になっているところも多く見られるようになりました。廃止予定ではないものの、築後40年以上が経過している住宅も多くあります。市営住宅の運営について、今後のあり方を本格的に考える時ではないでしょうか。市営住宅の現状と今後の考え方を伺います。	市長 副市長 土木管理部長
7	一 問 一 答	椎 野 隆 議 員	1. 市道の整備状況について	①本市の道路のうち市道の割合について ②未舗装の道路割合について ③救急車が通れない幅員の道路の割合について ④地区からの拡幅要請ほどの位あるか、また進捗状況について ⑤救急車の通れない道路を無くすべきと考えるが市長の考えを伺います。	市長 土木管理部長
			2. 投票率向上のための施策について	①今次の衆議院選挙の投票率についてどうとらえているか ②市民から投票率向上に向けての意見があるか ③江戸崎総合高校臨時期日前投票所設置の成果について ④特色のある投票済証明書の発行について(岐阜県加児市他) ⑤投票済証明書での商店街割引について	
8	一 括 質 問	中 村 三 郎 議 員	特定外来生物ナガエツルノゲイトウについて	市長、議長及び近隣町村長と国や県へ要望書を提出されていますが、その後の国と県の動向について伺います。	市長 地域振興部長 市民生活部長
9	一 問 一 答	竹 神 裕 輔 議 員	改正障がい者差別解消法への対応について	本年6月4日に改正障がい者差別解消法が公布されました。事業者による合理的配慮が法的義務化されたことを踏まえ、条例改正等も含めた新たな施策の検討が必要となると考えます。今後、本市が取り組むべき施策について伺います。 ①これまでの取組みについて (1)本市の総合的な認識および考え方について (2)相談・紛争解決のための体制整備について (3)障がい者差別解消支援協議会について (4)教育現場における合理的配慮について ②今後の行政サービスのあり方について (1)人材の育成と確保について (2)法改正に対応した施策の実施と体制づくりについて	市長 教育長 保健福祉部長

質問 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 者
10	一問 一答	浅野信行 議員	1. 耕作放棄地について	耕作放棄地解消に取り組んでいる那須塩原市の農家のグループでは「青空プロジェクト THE DAY」を発足させ、山道にマウンテンバイクを走らせるなど、獣害対策と観光との両立を目指しているそうです。本市の耕作放棄地対策の取組みについて伺います。	市長 地域振興部長
			2. マイナンバーカードについて	マイナンバーカードの現状とこれからの取組み（健康保険証など）について伺います。	市長 行政経営部長 市民生活部長
11	一括 質問	根本 浩 議員	1. 本市の学校跡地の利活用について	教育委員会としての学校跡地の利活用についてどのような考えを持っているか伺います。また、利活用の案として年配者となった方々の健康増進を図るためにターゲットゴルフ、またはターゲットバードゴルフ場が最適な憩いの場になると考えますがご所見を伺います。	市長 行政経営部長 保健福祉部長 教育部長
			2. コロナ禍の影響による稲作農家における減収について	コロナ禍の影響で大量の余剰米が発生し、主食用米の大幅な下落に繋がりました。米価安定のために真面目に取り組んでいる農家にどのような救済措置を考えているのか伺います。また、土地を貸している地権者も土地改良費を賃料では賄いきれませんが、支援策を伺います。	市長 地域振興部長
12	一括 質問	山口清吉 議員	1. 加齢性難聴に係る補聴器購入について	①加齢性難聴が認知症の重大な危険因子のひとつと言われているが、どのように認識しているか伺います。 ②認知症予防のため、高齢者の生活を支援し、社会参加を促進するため、補聴器購入へ助成する考えはないか伺います。	市長
			2. 米価暴落に対する緊急対策について	①今年度の米価暴落をどのように認識しているか伺います。 ②農業経営安定のため「経営所得安定対策事業」のような補助金を出す考えはないか伺います。	市長
			3. 会計年度任用職員制度について	①本市には現在、会計年度任用職員は何人いて、どのような部署に配置されているか伺います。 ②地方公務員は全体の奉仕者です。すべての市民に公平に接しなければなりません。災害時など市民の暮らしを守る先頭に立つことができるのか伺います。 ③「人件費は安ければ安い程いい」という考えを改め、「会計年度任用職員」はできるだけ減らす方向に転換するべきと思うが所見を伺います。	市長

新型コロナワクチン3回目接種について

令和3年12月3日

健康増進課ワクチン接種対策室

○国の方針（11月18日現在）

- ・ 3回目の接種間隔は、原則8か月以上。（薬事承認は6か月以上となっている）
- ・ 対象者は、2回接種完了者全て（ただし、現在の薬事承認は18歳以上のみ）
- ・ 全国的に12月1日開始（関係省令施行）
- ・ ワクチン種類は、前回と異なるものも接種可。
- ・ 3回目用として相当数のモデルナを配分予定
- ・ 5-11歳用のファイザーワクチン（大人とは別物）2月開始を念頭に準備

○稲敷市の現状

- ・ 1-2回目接種は11月中におおむね完了するが、12月以降も接種忘れ者や12歳到達者など少数の対応が続く見込み
- ・ 市内医療機関（個別接種会場）はインフルエンザ対応があるため、冬季のワクチン接種には消極的な所が多い
- ・ 2回接種完了時期とそれぞれの人数は下表のとおり

2回目接種月	人数	3回目接種の時期	接種券発送時期（暫定）
R3.3～4月	191人	12月以降	11月22日
5月	約1,000人	R4.1月以降	12月下旬
6月	約3,500人	2月以降	R4.1月下旬
7月	約11,000人	3月以降	2月に分散
8月	約5,000人	4月以降	3月中旬
9月	約4,500人	5月以降	4月中旬
10月	約4,500人	6月以降	4月中旬

不確定要素

- ・ 原則8か月の規定は、今後第6波が発生した場合は6か月に変更となる恐れ

稲敷市の方針

集団接種

- ・ 12月から2月上旬までは、集団接種を中心に実施する（医療機関はインフル対応）
- ・ 2月中旬以降は、集団接種、個別接種ともフル稼働する必要がある
- ・ 稲敷市にもモデルナが配分されるため、保健センターでモデルナの接種ができるように準備中
(2-3月中は、ファイザー7,000回分、モデルナ7,500回分)
- ・ 集団接種は、当面、保健センターのみで実施する
- ・ 税務申告や年度切替の繁忙期であるため、本課職員＋運営委託を中心に運営する

予約

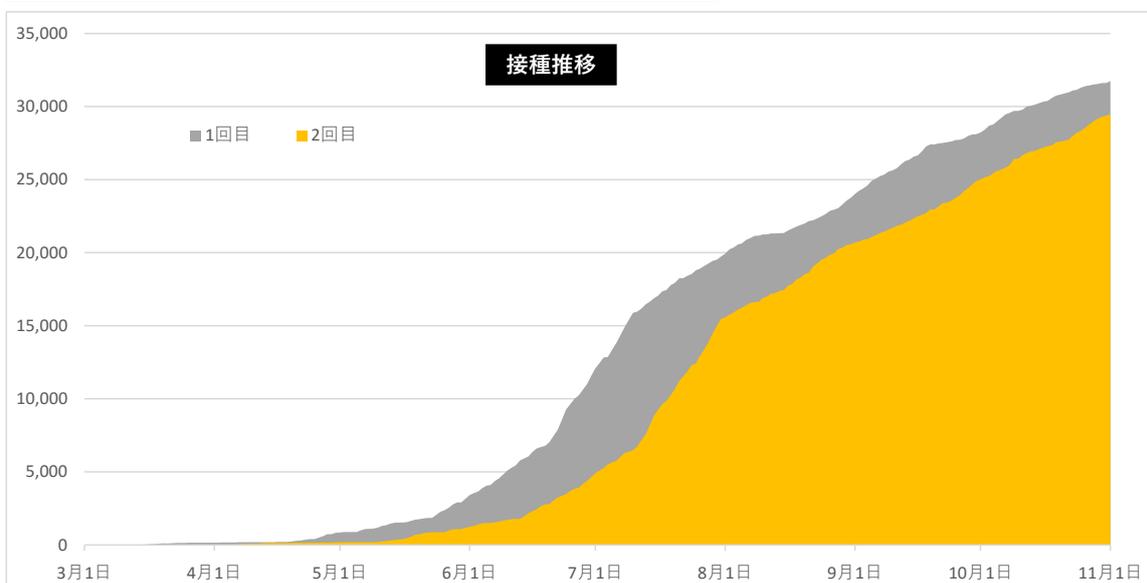
- ・ 12月接種対象者の接種券は、11月22日に発送（191名分）
- ・ 今後の接種券は6か月接種を想定して早期に印刷し、発送は予約殺到を緩和できるよう2回目接種時期により分散させて実施
- ・ ネット予約＋コールセンターは1月11日（火）午前9時から開始
- ・ 窓口予約は2月1日～3月31日に市庁舎・東支所・2公民館にて実施

移動支援

- ・ 巡回バスは利用実績42人
- ・ 1-2回目に実施した巡回バスは、利用が少なかったため、今回は実施しない
- ・ 要支援者に対してタクシー券の配布、介護タクシー補助制度案内で対応する。

接種状況（11月1日現在）

	人口	1回目接種者数		2回目接種者数	
		人数	割合	人数	割合
75歳以上	7,219	6,679	92.5%	6,604	91.5%
65-74歳	7,445	6,966	93.6%	6,904	92.7%
60-64歳	3,035	2,789	91.9%	2,730	90.0%
50-59歳	5,334	4,697	88.1%	4,498	84.3%
40-49歳	4,669	3,864	82.8%	3,539	75.8%
30-39歳	3,570	2,750	77.0%	2,352	65.9%
20-29歳	3,158	2,280	72.2%	1,694	53.6%
12-19歳	2,310	1,718	74.4%	1,153	49.9%
合計	36,740	31,743	86.4%	29,474	80.2%


全年齢

2回目接種月	ファイザー						モデルナ	アストラ	総計
	集団	個別	いわき	入院・入所	市外				
3月	10					10			10
4月	179					179			179
5月	982		436		60	486			982
6月	3,471	305	1,847	341	280	698			3,471
7月	10,737	8,362	1,587	149	44	595	89		10,826
8月	3,161	1,265	1,494			402	1,950		5,111
9月	3,531	1,249	2,078		23	181	796		4,327
10月	3,403	1,508	1,426			469	1,069		4,472
11月	95	29	60			6		1	96
総計	25,569	12,718	8,928	490	407	3,026	3,904	1	29,474

65歳以上

2回目接種月	ファイザー						モデルナ	アストラ	総計
	集団	個別	いわき	入院・入所	市外				
3月						1			1
4月						8			8
5月			201		27	100			328
6月		284	1,735	332	130	419			2,900
7月	2	6,647	1,515	146	22	220	2		8,552
8月	30	459	643			54	30		1,186
9月	9	124	232			12	9		377
10月	20	48	65			15	20		148
11月		2	5						7
総計	13,446	7,564	4,396	478	179	829	61	0	13,507

(株)カスミとの包括連携協定締結に伴う
高齢者買い物支援事業（移動スーパー）について

令和3年12月3日
高 齢 福 祉 課

(株)カスミとの包括連携協定に基づき、日常の買い物に不便を感じている高齢者等への買い物支援の取り組みとして、移動スーパーの開始に向けた準備を進めてまいります。

記

1. 県内の状況

11 市町

2. 連携項目

(分野) 福祉の向上に関する事

(取組) 移動スーパー実施に向けての検討

(事業) 買い物が困難な高齢者等への買い物支援を行う

3. 今後の予定

12月

- ・第4回定例会上程 補正予算
高齢者買い物支援事業補助金 2,000,000円
- ・補助金交付要綱(案)作成

令和4年1月

- ・移動販売場所の確定
- ・高齢者等への周知(市広報・回覧等)

令和3年度中

- ・事業開始予定

シトラスリボンプロジェクトの市民への啓発について

令和3年12月3日

保健福祉部 社会福祉課

1 事業の概要

新型コロナウイルス感染症により、今までの暮らしが揺さぶられている状態が長く続き、感染者や医療従事者に対する差別や偏見が残っている現状があります。

市ではこれらの対策として昨年度「おもいやりのまち宣言」を出しコロナ差別の禁止を宣言したところですが、更に新たな取り組みとして全国に広がりつつある「シトラスリボンプロジェクト」に稲敷市も賛同し、活動を進めていくものです。この活動を通して、「ただいま」「おかえり」と心から言い合えるひとの輪が市内全域に浸透させ、差別や偏見のない社会を目指していきます。

2 活動内容

- ・ 小中学校・幼稚園等へのポスターの掲示
10月13日付けで各学校・幼稚園に配布および掲示依頼
- ・ 市役所・各公民館等にポスター掲示およびリボンの配布
福祉ボランティア等に作成をしてもらったりリボン等を配布
- ・ ホームページ・広報への掲載
ホームページは11月に掲載
広報稲敷には12月号に掲載予定



ただいま、おかえりって言いあえるまちに
みんなで広げよう、シトラスリボンプロジェクト



Citrus Ribbon PROJECT

コロナ禍で生まれた差別や偏見をなくし、

誰もが地域で暮らしやすい社会を目指すプロジェクトです。

シトラス色のリボンやロゴを身に着けて新型コロナウイルスに

感染した方やご家族、医療従事者の方たちがそれぞれの暮らしの場で

安心して「ただいま」「おかえり」と受け入れられる、

あたたかい社会の実現をめざす活動です。

詳細はこちらから



稲敷市はシトラスリボンプロジェクトに賛同しています。

中学校卒業応援商品券交付事業について

令和 3 年 1 2 月 3 日
保健福祉部 こども支援課

年度末に義務教育課程を修了し、新たなステップに踏み出す、すべての中学 3 年生へ準備金として商品券を交付することにより、地域活性化、移住・定住の促進、子育て世帯の負担軽減のため寄与することを目的とする。

令和 3 年度事業内容

◎対象者

本市の住民基本台帳に登録されている方で、本年度中学校を卒業する生徒
※ 2 月 1 日から 3 月 3 1 日までの転入者は翌年度の対象とする。

◎交付額

対象生徒 1 人に対し、2 万円の商品券を配布
※商品券の利用は、市内の使用可能店舗のみ。

◎使用期間

令和 4 年 1 月 15 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

令和 4 年度事業(案)

現在、実施しているピカピカ 1 年生応援商品券、新中学 1 年生応援商品券、中学校卒業応援商品券を一本化し、新たに 「(仮称)子どもの未来応援商品券交付事業」として実施します。

◎実施内容

- ①すべての対象者へ同じデザイン、同じ金額の商品券を配布(一人当たり 2 万円)
- ②すべての対象者の使用期限の統一(7 月から翌年 3 月末まで)

◎実施のメリット

- ①印刷物等費用及び換金時の店舗への振込手数料の経費削減
- ②利用店舗での複数商品券による混乱軽減
- ③一括交付による利用方法の多様化

新型コロナウイルス感染症に係る稲敷市産米活用支援事業について

令和3年12月3日
地域振興部 農政課

稲敷市では令和3年度より学校給食が完全給食に切り替わり、市内すべての小・中学校で、稲敷市産米が提供される。そこで、ご家族の皆様にも稲敷市産米を味わってもらおうべく、市内で生産量の多い3品種を宅配し、味や食感の違いを楽しんでいただき、あらためて稲敷市産の農産物及び農業に関心を持ち、新型コロナウイルス感染症の影響で需要が落ち込んでいる稲敷市産米の需要の拡大も図っていく。

記

1. 対象者

令和3年10月1日において稲敷市内に住所を有し、平成18年4月2日から平成27年4月1日の間に生まれた者（小中学生対象）

2. 宅配予定時期

年内配送予定

3. 内容

精米済みコシヒカリ、ミルキークイーン、あきたこまち（各2キロパック）

宅配サンプル写真



新型コロナウイルス感染症に係る地元産米活用支援事業について

この事業は・・・現在、新型コロナウイルス感染症の影響で稲敷市産米の需要が落ち込んでいます。稲敷市では、令和3年度より学校給食が完全給食に切り替わり、市内すべての小・中学校の給食で、稲敷市産のお米が提供されています。ご家族の皆様にも稲敷市産のお米を味わってもらおうべく、稲敷市産のお米をご家庭に提供するものです。

3種類ともに、稲敷市で育ったお米ですので、ぜひご賞味ください！

※高温多湿を避け、45日以内にお召し上がりください。

【お米の紹介】



【コシヒカリ】

言わずと知れた、お米の最高傑作で、全国各地で作られているよ。

独特の粘りと、噛みしめるほどに広がる旨みと、甘さがとても強いお米なんだよ。



【ミルキーQueen】

コシヒカリをもとに改良された品種で、非常に粘りが強くモチモチ食感が特徴のお米だよ。冷えてもおいしいよ。

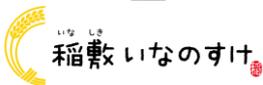
※通常より水を10%～15%位減らして炊いてね。



【あきたこまち】

コシヒカリに比べて早く収穫できるお米だよ。

甘み・旨み・香りのバランスが良く、あっさりした食感で、くせが少なく食べやすいお米だよ。



お求めの際は市内米販売店のほか、市内直売所にお問い合わせください。

いな の す け 市 場 TEL：0297-87-7777

直 売 所 浮 島 TEL：029-894-6622

さくらがわ直売センター TEL：029-840-6363

※時期によって取り扱いのない場合がございます。

事業についてのお問い合わせ：稲敷市農政課農林水産係 TEL:029-892-2000 (代)

地域おこし協力隊の6期生について

令和3年12月3日
担当 まちづくり推進課

62 丸田 聡太郎（まるた・そうたろう）

任期：令和3年10月1日～令和6年9月30日

出身：東京都足立区

年齢：25歳

業務：新規就農（江戸崎かぼちゃ）を目指す農業研修

※上記業務を行う隊員としては昨年度に続き2人目の着任。

稲敷市の特産品としてG I 認証を受けた「江戸崎かぼちゃ」ですが、生産者の高齢化により担い手が減少していることをうけ、J A稲敷と協力しながら就農希望の地域おこし協力隊を募集し、新規就農者として市内への定住者増加と特産品生産維持を図ります。



【隊員コメント】

次世代につながる若年者による営農を目標に活動に取り組み、SNSでの情報発信も活用しながら農業を通じた地域おこしを実現させたい。

3年間の活動の中で研修を行い、その後、江戸崎かぼちゃの生産農家として独立就農を目指します。



令和3年6月

「お試し地域おこし協力隊」実施時、
J A稲敷南瓜部会の岡野さんの圃場で農作業体験

【報道関係者各位】

令和3年12月3日

天然記念物オオヒシクイの越冬飛来状況
12月2日現在：205羽が飛来

雁の仲間オオヒシクイは、今シーズンも稲敷市江戸崎入干拓（通称：稲波干拓）に飛来しています。

稲波干拓に飛来するオオヒシクイは関東地方で唯一の個体群で、さらには太平洋岸としては、大変貴重な越冬地になっています。

11月21日に47羽が渡来してから、家族やグループで次々に到着し、現在205羽が稲波干拓で羽を休めています。

例年ですと、12月中旬頃まで飛来数が増えると思われます。

昨年度は、渡来数が207羽となり、オオヒシクイの記録を取り始めてから最大の越冬数となりました。

稲敷市では、稲波干拓南側の小野川堤防沿いに、観察小屋を10月30日に設置しました。ヒシクイが北帰するまでの期間、設置をしていますのでご利用下さい。



■本件に関するお問い合わせ

・市民生活部環境課 担当：奥村 連絡先：029-892-2000（内線 2316）



令和3年11月撮影



提供：稲敷雁の郷友の会